

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

小網代の森を歩いてきた

この森のことはずっと前から気になっていた。節分の日、朝起きると真っ青な空。とても冷え込んでいたが、“よーし”歩いてこようと出かけた。

京浜急行の三崎口から三崎に向かって徒歩 20 分、バス停“引橋”から右に入るとすぐに森の入口があった。谷戸への長い階段が作られており、降りると木道が湿地の上を右に左にと続いている。偶々入口近くで出会った愛護会?のメンバーの男性が色々と説明してくれた。県の整備作業、即ち人が湿地に立ち入らないようにするために地面から浮かした階段、木道や板張りの広場を作る作業がおわり、昨年、県知事を迎えてこの板張りの広場で完成式が行われ、誰でも森に入れるようになった由。

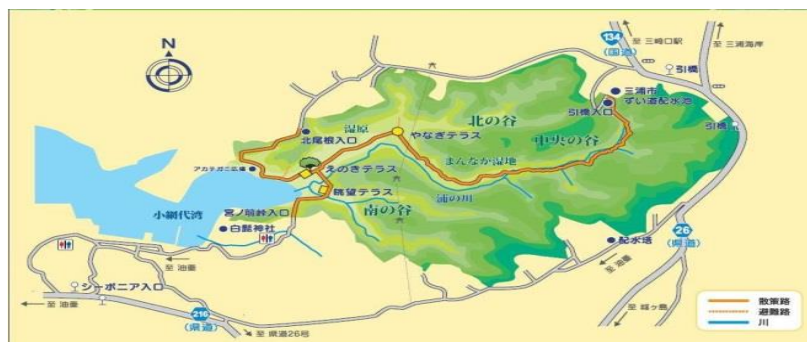
冬の森は明るい。谷の斜面には常緑の樹に交じって葉を落としたコナラが大きく空を指し、湿地には明るく陽がさしていた。上流ではチョロチョロの溪水も海岸に近付くにつれて量がふえ、こんな小さな谷でもと感心した。湿地には枯れた倒木が残されている。ジャヤナギという柳は枝が折れて流れた先で簡単に根を下ろすとのこと。水溜まりに小魚や虫でもいないかと探したがみつからない。蛙の卵?らしい小さな粒々が入っている透明なかたまりが一つだけ見つかった。この森は源流から海まで手付かずにある希で貴重な森だ、アカテガニのゆりかごだ、守り貫かねばならないと、神奈川県が買収するようになるまで色々と活動を続けてきた方々の努力を想った。

かの男性曰く、京急のゴルフ場の開発計画に対して関係者が立ちあがった由で、我々の横浜自然観察の森も京急のゴルフ場計画がきっかけですよと笑いあった。大阪で仕事をしていた 20 数年前にも、和歌山の白浜近く天神崎の別荘開発計画に市民が待ったをかけた。日本のナショナルトラスト運動のはしりで、英国の運動の歴史がどうのこうのと小網代の森の保全活動のことが新聞に出ていたような記憶がある。

缶ビールとおにぎりのあと油壺にむかった。アカテガニのアパートという手作りの案内があり、道端の土の斜面の小さな穴の中で冬眠しているとの説明があった。ガサガサという音がするかも知れないとのこと。耳を近づけたが聞こえない。途中、漁港の側の白髭神社にお参りした。三浦七福神の一つで壽老人が祀られている。かんかん石という船の碇がおかれていた。石で叩くと澄んだいい音がする。摂津の船に乗せられていたのを、この神様の望みで贈られたとのこと。樽廻船?上方とのつながりを感じる。

30 分あるいて京急ホテル観潮荘で潮風呂に入り、バスで京急三崎口へ。

費用:京急上大岡~三崎口往復 860 円。入浴:1,000 円。バス:油壺~三崎口 270 円。



(藤原 記)

この詳細図は、こちらから <http://urx.nu/hMqg>

1. 2月の主な活動内容

- ① 1月28日(水) 7名 SF準備、炭小屋整理
- ② 1月31日(土) 18名 竹材運搬、ドラム缶窯火入れ試験、製材、SF準備、安全講習、ZFC通信印刷・発送
- ③ 2月4日(水) 9名 SF準備
- ④ 2月7日(土) 16名 シイタケ用クヌギ玉切り搬入、ドラム缶窯炭材詰め、SF準備、保全活動検討会
- ⑤ 2月11日(水) 13名 SF準備
- ⑥ 2月14日(土) 14名 観察の森入口横檜伐倒、SF準備
- ⑦ 2月18日(水) 7名 SF準備
- ⑧ 2月21日(土) 17名 炭焼体験会、運営会

2. 運営会の報告

- ・昨年10月申請の「2014花王・みんなの森づくり活動助成」について2月14日内定通知を受ける。助成期間(3年間)初年度の2015年度申請計画書(活動・予算)を検討、2月26日締切で提出することとなった。
- ・ZFCへの入会は中学生以上とした。
- ・来期ZFCの代表に橋詰 齊氏が内定となった旨の報告あり。

3. 3月活動予定

- ① 2月25日(水) SF準備
- ② 2月28日(土) SF準備、アラカシ林間伐、「クヌギ・サクラ」植樹場所の選定、製材、炭出し、ZFC通信印刷発送
- ③ 3月4日(水) SF準備
- ④ 3月7日(土) SF準備、アラカシ林間伐、竹炭材作り、ホダ木搬入
- ⑤ 3月11日(水) SF準備
- ⑥ 3月14日(土) SF準備、アラカシ林間伐、竹炭焼き
- ⑦ 3月18日(水) SF準備
- ⑧ 3月21日(土) SF準備、シイタケ用ホダ木のこま打ち、マダニ勉強会、運営会
- ⑨ 3月25日(水) SF準備
- ⑩ 3月28日(土) SF準備、ZFC通信印刷発送

以上